



# 道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 675  
令和8年2月号

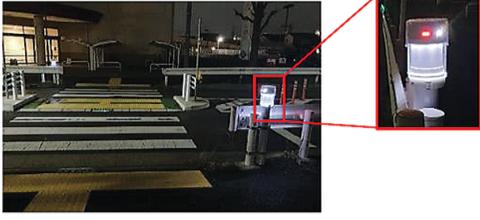
発行所 全国道路利用者会議  
〒100-0013  
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1  
尚友会館6階  
電話 03-3501-5611(代)  
発行人 小林 勉  
定価 20円 (会員の購読料は会費に含む)

8月10日は「道の日」

## 交通安全対策のイメージ

### <センサー付きスポットライト>

・夜間に歩行者を感知して点灯し、運転者からの歩行者の視認性を向上させる照明



### <二段階横断施設>

・車道中央部に横断歩行者が待機、退避できる交通島を設置し、2回に分けて歩行者を安全に横断させる施設



## 表 直轄国道の先行対策区間

地方整備局等	路線名	都道府県	市町村	主な対策(案)
北海道	国道236号	北海道	幕別町(忠類)	センサー付きスポットライト
東北	国道45号	青森県	階上町(耳ヶ吠)	センサー付きスポットライト
関東	国道19号	長野県	長野市(安茂里)	センサー付きスポットライト
北陸	国道159号	石川県	かほく市(木津)	センサー付きスポットライト
中部	国道156号	岐阜県	岐阜市(岩田坂)	二段階横断施設
近畿	国道28号	兵庫県	淡路市(久留麻)	センサー付きスポットライト
中国	国道53号	岡山県	津山市(一方)	センサー付きスポットライト
四国	国道56号	高知県	黒潮町(浮鞭)	二段階横断施設
九州	国道220号	鹿児島県	鹿屋市(上小原)	センサー付きスポットライト
沖縄	国道331号	沖縄県	八重瀬町(破名城)	センサー付きスポットライト

## 高齢者の安全・安心な通行空間確保に向けた取り組みを進める

国土交通省は、センサー付スポットライト、二段階横断施設等の技術を活用した交通安全対策について、先行実施を開始するとし、高年齢者の死亡事故の約5割が横断歩道以外を横断中に発生している状況にあること、高年齢者の安全・安心な通行空間確保に向けた取り組みを更に推進していくとしている。

このため、高年齢者の安全・安心な通行空間確保に向けて、センサー付きスポットライトや二段階横断施設等の技術を活用した交通安全対策を、今回、順次開始することとした。具体的には、上記の直轄国道の先行対策区間(高年齢歩行者の横断歩道以外を横断中に発生している状況にあること、高年齢者の安全・安心な通行空間確保に向けた取り組みを更に推進していくとしている。

## 「自転車ネットワーク検討に関するデータ活用の手引き」を策定

◇自転車ネットワーク検討に関するデータ活用の手引き Ver1.0  
<https://www.mlit.go.jp/road/road/bicycle/index.html>

国土交通省では、自転車の利用状況や地域課題を踏まえた自転車ネットワークの整備を推進している。今回、地方公共団体が、自転車ネットワークデータを活用して自転車ネットワークの検討ができるよう、「自転車ネットワーク検討に関するデータ活用の手引き Ver1.0」を策定した。

「自転車ネットワーク検討に関するデータ活用の手引き Ver1.0」の概要

手引きは、自転車ネットワーク計画の作成方法を解説する「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」(令和6年6月、国土交通省道路局・警察庁交通局)に基づき、データ活用の観点から補完するもので、「はじめに」のほかに記の3編により構成されている。

## 高速道路建設事業での建設機械施工の自動化・遠隔化の社会実装

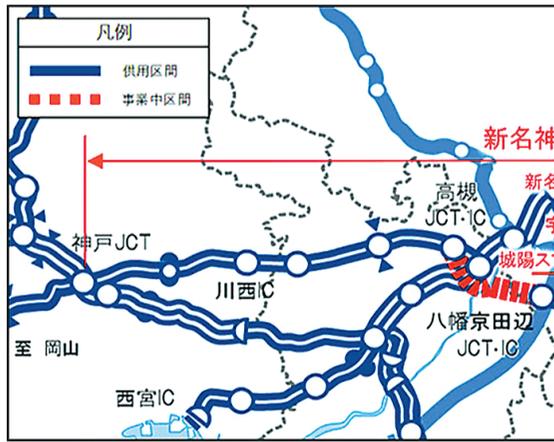
NECCO西日本と鹿島は、新名神高速道路(大津JCT(仮称)・城陽JCT・IIC間)京都府城陽市の建設現場において、今回の工事の施工を担当する、鹿島が開発した建設機械の自動化施工システム「ACSEL」を導入し、自動ブルドーザと自動振動ローラによる施工を本格的に開始した。高速道路の本線建設工事へのACSELの適用は初めてとなる。

## A<sup>4</sup>CSELによる盛土作業の自動化施工



NECCO西日本及び鹿島は、働き方改革による担い手の確保や育成、生産性・安全性のさらなる向上のためにICT等のデジタル技術を活用するなど、積極的に取り組むとしている。

## 工事場所



建設現場では、熟練技能者不足や高齢化だけでなく、就業者の大幅な減少といった課題を抱えている。また、全産業における建設業の労働災害の発生率は依然として高い状態にある。しかし建設現場では、安全性を高めるための対策を講じるほど、施工の効率性が低下する傾向にある。さらに近年では、地球温暖化の気温上昇に起因する猛暑対策など、休工や労働時間の見直しも検討されている。このような中、鹿島は、建設現場の生産性と安全性を飛躍的に向上させることがこれらの課題解決につながることを考え、最小限の人員で複数の自動化した建設機械を同時に稼働させることを目指している。

## 令和7年度「道路ふれあい月間」推進標語

「脈々と輝く生命線」を「道」

“道路総合システムサービス”企業

**ニチレキ株式会社**

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511代表

今後、この現場では、高速道路本線の盛土約150万m<sup>3</sup>を対象に、最盛期には自動ブルドーザ2台、自動振動ローラ2台の合計4台で自動化施工を実施する予定である。